

## 鵜住居区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ③新神町内会、川目町内会 議事要旨

記

■ 日時 平成 25 年 12 月 14 日（土）18 時 30 分～20 時 00 分

■ 場所 U R 都市機構事務所

■ 次第

### 1. 挨拶

鵜住居地区地権者連絡会 会長 古川愛明

釜石市復興推進本部 復興建設技監 小友光晴

### 2. 住宅再建意向調査の結果について

- 昨年度の調査対象とした約 5,000 世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた約 4,200 世帯を対象に行った。鵜住居地区では回収率は 77.9%（12 月 4 日現在）。
- 前回の調査に比べ、鵜住居地区で再建したいという世帯が増え 472 世帯。自力再建補助制度の拡充が要因と考えられる。
- 鵜住居地区で災害公営を希望する数は 157 世帯。
- 市全体でみると、災害公営住宅の入居希望者は変わらず、釜石東部地区の希望が多い。
- このアンケート結果の見直しを行いながら、計画に反映していく。

### 3. 鵜住居のまちづくりについて

#### 【道路整備について】

- 復興まちづくりに合わせて、国道 45 号線の線形について、三陸国道と協議しながら計画してきた。国道の幅員は全体で 17m、両側に 3.5m の歩道を整備する計画となっている。
- 釜石遠野線は寺前交差点の改善、幅員 12m 両側 2.5m の歩道の整備を行う。谷地地区を通り、鵜住居川と平行に鵜住居小中跡地まで繋がる計画。
- また、JR 線と平行して谷地地区を通る道路を整備する。
- JR 線を挟んだ谷地地区と新川原地区をむすぶ道路を整備する。線路の下でも 4.5m の高さを確保し、大型車両が通れるような道路とする。
- 新神地区の道路は、区画整理事業で街区道路を整備する。常楽寺周辺は幅員 6.5m で計画している。

#### 【施設整備について】

- 鵜住神社付近の高台には鵜住居小・中学校の整備計画を進めている。標高約 15m の高台になることで、避難施設としての機能を持つ学校となる。準備工事として、今後

木の伐採などを行っていく。

- 鵜住居駅前周辺には、約 2 ヘクタールの公共施設整備を計画している。人を集め、にぎわいを創出するという土地利用方針。追悼施設や体育館といった各施設の詳細な検討は今後行う。
- 駅南側には、市役所出張所や、公営住宅の整備を計画している。さらに南には、戸建ての災害公営住宅を計画している。換地計画の関係で、計画位置が多少変更になる場合があるがご了承いただきたい。
- 駅北東の街区には下水処理場を計画している。

#### 【土地の買い取りについて】

- 買い取り対象としている土地について、12 月 10 日に買収価格のお知らせ文書を発送。1 月中から契約のお願いをしていく。
- 本来であれば直接面談にてお知らせする内容であるが、3 月の仮換地に向け時間が限られるため、電話や郵送で価格等のお知らせをしていることをお詫びする。
- お手紙での案内後、担当業者から電話で連絡をする。
- 担当業者の紹介。ランドコンサルタント、UR 都市機構。  
市から説明された計画の骨格に基づき、換地設計を行っている。みなさまの個々の土地がどのくらいの面積、どこに、どうなるか、個別に説明させていただく。工事は、本来仮換地指定後となるが、承諾をいただき、仮の盛り土をしている。本格的工事は 3 月以降にはなり、かさ上げ工事を行っていく（UR 都市機構）
- 以前行った買い取り意向の調査結果を基に連絡をしているが、公共施設用地の確保も含むため、事業の為の面積等諸事情により、希望していない方にも連絡がある。

#### 4. 市道箱崎半島線について

- ルートは、釜石側から来ると、やまざき機能訓練デイサービスホーム付近から山へ入り、根浜の高台移転エリア（前川旅館再建位置付近）に出る。終点は既存の鵜住居 2 号線に接続する。
- 前回（7 月）と変わった点は、区画整理事業に伴う道路と接続する部分の新川原連絡線。
- 測量・調査・設計の 26 年 3 月完了を目指している。用地買収、工事とともに根浜地区から進めており、順次鵜住居側の用地買収を行っていく。  
通常であれば、用地買収が確定してから工事発注するが、半島への早急な道路整備のため、先行発注している。工事完了は 29 年 3 月末を目指している。

#### 5. 意見交換について

国道の幅について、歩道が 3.5m ということだが、車道を含むと何 m になるか？

→ 歩道：3.5m 両側、車道：3.5m 2 車線、路肩 1.5m 両側の全体で 17m になります。

図面を見ると、街区道路の線が引かれている。もうすでに仮換地計画が決まっているということではないのか？この図面を見ると自分の宅地には道路が通っている。今後自分達が生活するところはどうなるのか？

→ 区画整理は「照応<sup>しょうおう</sup>の原則」※のもと換地計画を行うため、基本的に従前宅地の近くに換地されることになります。

不服があった場合はどうするのか？

→ 不服があっても変更されるものではありません。供覧の際に、みなさんに丁寧に説明を行い、ご理解を得ていきます。

新神の道路高さはどうなるのか？また、減歩率はどのくらいか？

→ 新神地区の道路高さは、寺前交差点で2m前後のかさ上げになります。区画整理による減歩率は、鵜住居地区平均で10%くらいになります。

神ノ沢地区の再建希望や地区へ戻りたいという希望数はどのくらいか？

→ 細かい地区単位の集計は、把握できていません。

何のための地区単位での開催か？地区毎の集計結果が知りたい。

→ アンケート結果から細かい地区単位の集計を出すことはすぐには難しいです。

公営住宅の計画位置は今後も変わることがあるのか？場所を決める根拠は？

→ 災害公営住宅の位置決めには、用地の確保が要件となります。現在の予定地にまとまった用地が確保できたので、この位置になりました。

他の公営住宅は？

→ 日向地区については30戸の計画で、岩手県が設計を行っています。中心部は73戸、戸建は40戸を建設予定です。

以前の協議会でも要望を出したが、寺通りは拡幅してくれるのか？県道まで直線にするという要望は叶わないということか？

→ 拡幅整備を行います。県道まで直線で伸ばすと、寺前交差点付近に新たに交差点が追加されることになり、複雑で危険なため提示した計画となりました。

計画にある消防屯所はどの屯所のことか？また、その規模・内容は？

以前は用水路があったが、農業用水路は廃止になるのか？

→ 屯所は新神6-8の消防屯所になります。消防屯所の緊急配備や規模については、現時点では何にも言えません。

用水路は日ノ神から復旧します。（鵜住居地区地権者連絡会）

※従前の宅地に対して換地を定める場合に、換地と従前の宅地との位置、地積、土質、水利、利用状況、環境等が照応するように定めなければならないとした換地の基本原則

鵜住居の防災センター（救急車と大型ポンプ車の配置）は地区の悲願であった。ぜひ、同規模の再配備を実現してほしい。

農業用水路について、水の取り込み口までかなりの距離があった。水路の蓋も老朽化が進んでいる。それら状況を含め復旧してほしい。

→ 市は水路の状況を把握していると思います。

屯所には最低限でも救急車を1台配備することを要望していきます。（鵜住居地区地権者連絡会）

川目の仮設団地内の道に、鉄板を引いて通学路にしている。田んぼの中に農道がある。農道の一部を整備すれば、通学路として良いのではないか？

→ 前回の地域会議で議題として出ています。その際に「対応する」ということで教育委員会にも伝わっていますので、今後何らかの対応とられると思います。

復興整備の時期は？

→ 国道、下水処理場、学校を先行して整備していきます。一般宅地の整備スケジュールは、来春頃にお示ししたいと思っています。（UR都市機構）

大林組の人が来れば、URと異なる話をすると思う。専門家によっては、もっと早くできるという。

→ 片岸と鵜住居で130万m<sup>3</sup>の盛土が必要になり難しいが、できるだけ早く完了するように努めます。（UR都市機構）